



有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市脇川新田町宇前島970-100  
TEL:0258-66-0070 FAX:0258-66-0447

# クイーン倶楽部だより 10月号

**新米** 稔りの秋到来!  
新米をお届けします



今年の新米についてのお詫びとお願い

今年も新米の季節になりました。

長い間農家をしてきましたが、今年ほど天候に翻弄されたのは初めてです。そして、残念ながら会員の皆さまにご満足いただける品質が育てることができず、心から悔しい思いで一杯です。

今年は大雪に始まり、春から初夏にかけては異常低温と雨に祟られ苗は軟弱に生長し、梅雨明けと同時に猛暑、夜間も気温が下がらず雨も全く降りませんでした。充分に体力がつかないままの稲にとって熟中症のような状態が続き、品質を落とす結果となりました。

皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、自然と共生をする農業はリスクと共にあることをご理解いただき、何とぞご容赦の程、お願い申し上げます。

(株)エコ・ライス新潟 生産者代表 阿部 信行

## Dr中村のお米の話



中村 信也(なかもらのふや)

医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として勤務中。と、『食と医療』の医療栄養研究の第一人者として活躍中。



おやつのか  
材料販売中!

中国の上海の後、インドのカルカッタとニューデリーに行ってきた。特に一人でのんびりするのが目的ですので、街でぶらぶらして休日を通しました。

旅で得た印象は、インドは軍事国家であるということです。テロに対し非常に神経質で、観光客は迷惑であるような印象を受けました。空港に入り座席に座るまで6回の検問がありました。

二大都市は車の多さにびっくりです。一言で表現すれば「混沌」、英語でいえば「chaos」の世界です。社会秩序を守るために軍事国家にならざるを得ないのでしょうか。

インドの食事は「主食にカレーを付けて食べる」といえます。主食は北では小麦粉系、南では米飯系です。ホテルのビュッフェ式朝食付きでは、両ホテルともご飯はついていませんでした。その代わり小麦粉系はパンの他、5種類くらいありました。全部食べてみましたが、味は大差ありませんでした。カレーは付けて食べるものですから、街のレストランで頼むとカレーが小皿に近い量で、ぼつんと一つだけきます。一品では寂しいので二品頼みますが、同じようなものがぼつんと二つあるだけでずやかさに欠けます。メニューにはご飯もありますが、味付けご飯です。

カルカッタで知り合ったインド人にバエリヤのような「ジャリヤーン」というご飯ものをこちそうになつたので披露します。一度ラマダンの時期で、ある商店でご飯を一緒に食べるというので同行してきました。日本人が来たというので、ご飯ものこちそうで注文してくれました。そして、二層くらいしかない店のスペースで、車座になつて皆で右手を使い食べました。インド人は仲間同士同じ釜の飯を食う、ということが分かりました。味はまあまあでしたが、インド人気質を知り、美味しい旅の土産話がき満足でした。

### お知らせ

「Dr中村のお米の話」50回で単行本化！  
詳細は後日お知らせします。以後は新しいテーマで連載予定！楽しみに。

## 第46回 同じ釜の飯を食う